

平田知事への4つの質問

Q1. 県政を進めるうえで、大切にしたいことは？

特に大切にしたいのが、『決める』『動く』『変わる』という3つの姿勢です。

県のトップとしてさまざまな情報や政策提案をもとに、責任を持って、物事を迅速に決め、自ら先頭に立って動き、実行していきます。

県民の皆さんにもご参画いただき、地域が「変わる」、そのような県政を目指していきます。

こうした姿勢のもと、私は、「地域経済の基盤をつくる」「地域を残していく」「未来を担う人材を育てていく」という3つの基本的な考え方を中心に施策を展開し、長崎県を前へ進め、未来への希望をつくっていきます。



Q2. 「地域経済の基盤をつくる」とは？



人口減少に左右されない、持続的で力強い地域経済の基盤をつくっていくことが重要と考えています。

本県の造船や半導体、海洋エネルギー関連などの分野で国と連携した取り組みを進めるとともに、地域産業を支える中小・小規模事業者の生産性向上や販路拡大などへの支援を行い、地域経済の持続的な発展を図っていきます。

また、交流人口や関係人口の拡大を通じて、地域の消費を生み出す新たな人口を増やすとともに、さまざまな産業分野においても新たな分野、マーケットを開拓していくことなどにより、さらなる成長が可能であると考えており、こうした取り組みをしっかりと後押ししていきます。

Q3. 「地域を残していく」とは？

県民の皆さんが、地域で生活する中で直面するさまざまな課題に対応しながら地域を残していく必要があると考えています。

医療、福祉、交通など、地域で生活する方々の安心・安全の基盤となるサービスをしっかりと支えていくことが重要であり、それらのサービスを担う人材の確保や新しいテクノロジーの導入など、各分野の課題に応じたきめ細やかな対策を進める必要があります。

こうした対策を、人口減少がもう一段階進む前に、先手を打ちながら実践し、地域を残すことにつなげていきます。



Q4. 「未来を担う人材を育てていく」とは？



「地域経済の基盤をつくる」「地域を残していく」、これらの実現のためには、未来を担う人材を育てていくことが重要です。

教育や子育て支援などの政策をしっかりと進めるとともに、各企業や団体が行うさまざまな人材育成の取り組みについても、しっかりと後押ししながら、県民の皆さんと一緒に、本県の未来を担う人材を育てていきます。

県政特集

①

県民の皆さんと共に 長崎県を前へ!

本格的な人口減少社会を迎える今こそ、
人口減少が進んでも成り立つような
地域経営に全力を尽くし、
長崎県を前へ進めなければならない
という強い思いを持っています。

県民の皆さんの声をしっかりと受け止め、
皆さんと共に、
『長崎県を前へ!』
進めていきたいと考えています。



プロフィール

平田 研 (ひらた けん)

- 1967年10月20日 長崎県長崎市生まれ
東京大学法学部卒業
- 1991年 旧建設省（現国土交通省）入省
- 2000年 秋田県産業経済労働部観光課長
- 2003年 秋田県総務部次長
- 2014年 国土交通省道路局路政課長
- 2016年 国土交通省土地・建設産業局建設業課長
- 2018年 長崎県副知事
- 2023年 国土交通省大臣官房総括審議官
- 2024年 国土交通省不動産・建設経済局長
- 2025年 復興庁統括官
- 2026年3月 長崎県知事就任